いざというときのために

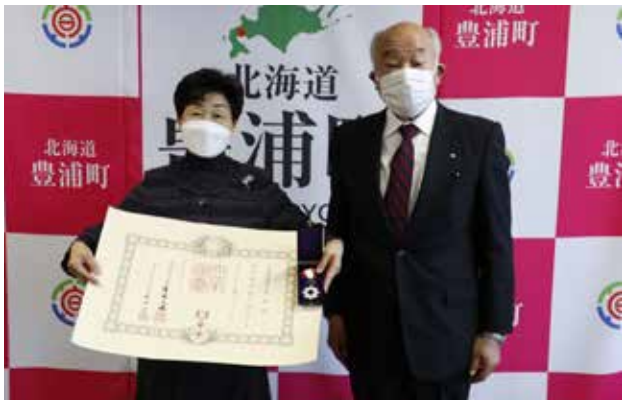
本町地区津波避難訓練

8月27日、北海道が主催する「令和4年度北海道防災総合訓練」と連携した、津波避難訓練を実施しました。

令和4年4月に配布した防災ガイドマップの津波浸水想定区域（本町地区）にお住まいの方を対象に行い56世帯80人が参加し、自宅から指定避難所までの避難経路の確認や避難にかかった時間などをそれぞれ確認していました。

特旨叙位・特別叙勲の伝達

故木村辰二さん旭日双光章を受章



元豊浦町議会議員の故木村辰二さんが、特旨叙位の正六位と特別叙勲の旭日双光章を受章されました。

木村さんは、昭和51年から45年間町議会議員を務め、永年にわたり町政の発展に貢献されました。

8月29日に町長室において、村井町長から妻の木村正子さんに勲記と勲章が伝達されました。

永年、豊浦町の振興発展のためにご尽力されたことに敬意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

地域おこし協力隊の活動日記

文／齊藤　理恵　隊員

2年半前に茨城県から北海道に移住して新しい暮らしがはじまり、農具を使ってハウス内の石を拾ったり毎日の雪かきや除雪機の操作などなど、思い返すと初めての出来事がたくさんあったなぁと…。そしてその2年半の暮らしの中で北海道の言葉ともたくさん出会いました。その中でも私がこちらに来て初めて耳にし、気になったそれは「ボッコ」と「コッコ」でした。その言葉の意味が分からず、資材の名前？にわとりのこと？と「？？？」でしたが、それが「棒」と「赤ちゃん／こども」のことだよと意味を知るとなんてかわいらしいのかと！そして親方たちとの会話の中で難しくて興味を持った言葉が「ワヤ」でした。まずその言葉がどんな意味をもつのかを質問したくても、何と言っているのかを聞き取れるまでに時間がかかり、やっと質問できた言葉だったなぁと心に残っています。ほかにも、「ゆるくないよね～」とか「～なのさ」は優しい響きでいつか自然に使ってみたい私のお気に入りの言葉です。そんな聞きなれなかった言葉たちも少しずつ溶け込んで今では私の日常となっています。

先月、ハウスに夫婦ふたりで定植した「苺のコッコ苗」もすくすく成長しています。どうかどうか「めんこい苺」に育ちますように！皆さま声援よろしくお願いしますッ！！

▲大岸で出会った手のひらサイズのコッコ猫が今ではこんなに大きくなりました！

協力隊の活動はフェイスブックで発信中です！

Facebook
https：//www.facebook.com/toyoura.chiikiokoshi/